

News Release

2023年11月6日
株式会社プロテリアル

たたら操業 村下の木原 明（きはら・あきら）氏が 読売あをによし賞を受賞

日刀保たたら*の「村下（むらげ）」（たたら製鉄において原材料の砂鉄・木炭・釜土を採取して操業を取り仕切る責任者）で株式会社プロテリアルの嘱託でもある木原 明（きはら・あきら）氏が、読売新聞社が主催する第17回「読売あをによし賞」を受賞しました。

読売あをによし賞では、文化遺産の保存・継承に顕著な業績を上げた個人や団体を顕彰するものです。今回は応募総数 51 件の中から、日本刀の制作に欠かせない「たたら製鉄」の技術を守る木原 明氏（88歳）（島根県奥出雲町）が「保存・修復」部門で受賞しました。また、表彰式が11月3日に大阪市内で開催されました。

（ご参考）

日本美を守り伝える「紡ぐプロジェクト」公式サイト

【第17回「読売あをによし賞」】〈保存・修復〉「玉鋼」を唯一生産
たたら製鉄指揮 木原明さん（島根県）

<https://tsumugu.yomiuri.co.jp/feature/awoniyoshi-2023-tatara/>

*日刀保たたら：株式会社プロテリアルは、公益財団法人 日本美術刀剣保存協会がたたら製鉄の技術と文化を継承していくために主催する日刀保たたらの操業支援を通して、日本刀の唯一の材料である玉鋼の生産に貢献しています。

以上

■プロテリアル(PROTERIAL)について

PROTERIAL

プロテリアル (PROTERIAL) は、当社の企業理念を構成する Mission 「質の量産」、Vision 「持続可能な社会を支える高機能材料会社」、Values 「至誠」「韞則彊(和すれば強し)」のエッセンスを反映しており、

“PRO” + “MATERIAL” から作られています。PRO が表すのは **Professional (専門的な)**、**Progressive (革新的な)**、**Proactive (主体的な)** の3つの言葉で、それぞれに「期待を超える仕事」「挑戦し続ける意志」「主体的な姿勢」という意味を込めています。MATERIAL はこれら3つのPRO に支えられた独創的な技術から生み出される、高機能材料を意味します。

当社グループはその製品と想いに根ざしたサービスを通じてお客さまの課題を解決し、世界の人々に新たな価値を提供して、持続可能な社会の実現に貢献し続けてまいります。

■株式会社プロテリアル 会社概要

設立：1956年4月

本社：〒135-0061 東京都江東区豊洲5-6-36 豊洲プライムスクエア

資本金：310百万円(2023年3月31日現在)

代表者：代表取締役 会長執行役員 兼 社長執行役員 CEO (最高経営責任者)
Sean M. Stack (ショーン・スタック)

売上収益：1兆1,189億円(2023年3月期)

沿革：1910年 戸畑鋳物株式会社として創業

1937年 株式会社日立製作所と合併

1956年 日立金属工業株式会社として分立

2023年 日立グループから離脱し、商号を日立金属株式会社から株式会社プロテリアルに変更